特集

岡谷の礎 シルク文化を再確認

リニューアル3年目の岡谷蚕糸博物館（シルクファクトおかや）に注目！

旧館から移転新設され、3周年を迎えた岡谷蚕糸博物館（シルクファクトおかや）。明るく、見やすく、わかりやすくなった館内には、実稼働する製糸工場が併設されるなど、博物館の枠を超えた斬新な展示や新たな企画が次々と生まれています。先人たちの偉業を伝えるとともに、新たなシルク文化を創造し発信する拠点となった岡谷蚕糸博物館。そして、「岡谷絹」を生み出す岡谷絹工房に注目し、それぞれお話をうかがいました。

岡谷蚕糸博物館 館長 **髙林 千幸さん**

歴史的資料と現代の技術や文化を伝える施設

岡谷蚕糸博物館は、平成26年8月にリニューアルオープンし、今年3周年を迎えました。旧館では歴史的な機械や資料の展示が中心でしたが、新しくなった博物館では、実際に稼働している製糸工場（宮坂製糸所）を同じフロアに併設し、糸繰りの現場を生で見学できるなど、製糸業の過去から現在までを切れ目なしに見ることができるようになっています。リニューアルから3年が経ち、その間、わたしたちもさまざまな企画展を開催し、PR活動をしてきましたが、市民のみなさんのなかには、蚕糸博物館が

リニューアルしたことも、移転したこともご存知ない人が、まだまだいらっしゃるようです。蚕糸博物館は「古い機械が並んでいるだけの場所」というイメージをお持ちの人は、ぜひとも、新しい蚕糸博物館にご来館いただき、明るく、見やすく、わかりやすく生まれ変わった蚕糸博物館を、体感していただければと思います。

また、岡谷の先人たちが、製糸業を通して培ってきた、ものづくりの歴史と技術からわたしたちは多くを学び、観光資源としても、市外の人に広くPRし、蚕糸博物館がその拠点となるようにしたいと思っています。

遺産だけでなく伝承していく技術を発信する拠点

リニューアルオープンしてからこれまでの3年間、館内では蚕糸に関するさまざまな分野の企画展を年に数回行い、毎年4月29日開催の「シルクフェアinおかや」では入館料を無料にして、ガイドツアーを行うなど、シルクについて楽しく学ぶ機会を提供してきました。特に今年は、シルクフェアの前日に、日本全国の蚕糸・絹に関わる専門家のみなさんにお集まりいただき、「第1回 日本絹文化フォーラム」を開催しました。絹文化に関する講演や情報交換を行い、翌日は多くのみなさんに、シルクフェアにご参加いただきました。

ほかにも、子どもたちの総合的学習の一環として「カイコ学習」を行ったり、当館のまゆちゃん工房では、まゆ人形やまゆのコサージュ作りなどを体験してもらっています。また、製糸業の繁栄期を知るお年寄りから、当時のお話を聞き取る調査を続けています。来館者には、岡谷の先人たちが築いてきた製糸業のすばらしさと、現在の精密工業の発展にもつながっていることを伝えています。

岡谷にも近代化産業遺産がたくさんありますが、富岡と違い、世界文化遺産に登録されるような大きな建物などは残っていません。すぐに観光資源となる、わかりやすい遺産がないのは、大変残念なことですが、遺産だけではなく、かつて世界一を誇った製糸業を起源とする、ものづくりの精神と技術が岡谷にはあり、それが現在にも受け継がれています。当館は、こうした技術の伝承にも注目し、スタッフ全員が解説をできる体制により、岡谷でしかできない情報発信をしていきたいと思っています。

総合的で開かれた博物館へ

最近の取り組みとしては、SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)の活用を始めました。イベント情報や、博物館の日常を伝えています。また、館内の撮影禁止箇所を部分的に解除することで、来館者から写真付きの口コミ情報を、SNSなどで自由に発信してもらえます。だれがいつ来ても楽しんでもらえるような、オープンな博物館にしたいと思います。

将来的には、当館の敷地内で、桑の生産から絹製品ができるまでの全ての工程を、生で見学できるようにしたいと考えています。そのためには飲食スペースも設けて、1日のんびりと楽しめるようにしたいですね。また、修学旅行での来館や、まゆちゃん工房でのワークショップのリピーターをもっと増やしていき、「シルクの全てを知りたければ岡谷に」となり、大型観光バスがどんどんやってくるような、そんな博物館をめざしたいと思っています。

岡谷絹工房 代表
小山 町子さん

岡谷の絹織物の技術と文化を伝えていく

岡谷絹工房は、製糸業の衰退とともに消えてしまいそうになっていた、岡谷の絹織物の技術と文化を後世に残し、後継者を育成するために、故宮坂博文先生のご指導で、平成10年から始まりました。

ここでは、蚕糸博物館に併設されている、宮坂製糸所で作られた糸を使い、染め、整経（織る前の準備として、経（たて）糸の本数、長さ、張り具合を整えること）、織りの工程を行い、絹織物を製作しています。おもに作っているものは、岡谷市のふるさと納税の返礼品にもなっている、ネクタイ、マフラー、ポーチなどです。また、富岡から供給されるまゆを宮坂製糸所で糸にして、それをここで絹織物にして富岡で販売していただいています。こうした注文品以外では、会員が自由に創作した小物などを、ハンドクラフト展に出品したり、ラフォカヤや、中央自動車道上り線の諏訪湖サービスエリアなどで販売しています。

わたしたちは、宮坂製糸所の糸で織った絹織物を「岡谷絹」と呼んでブランド化し、世に送り出す役目を担っているわけですが、販売や周知に関しては、まだまだ不十分で、今後の課題だと感じています。岡谷絹は、滑らかできらびやかなイメージのシルク製品というよりは、手仕事でしか出せない独特の風合いを持つ、普段使いに向いたすてきな絹織物です。その魅力を大切に、全国に発信できる「岡谷ブランド商品」をめざしたいですね。

一足飛びでは良い作品はできない職人の世界

現在、岡谷絹工房として使用している建物は、大正10年に建てられた山一林組製糸の事務所です。当時の製糸業の繁栄を知る貴重な建物で、館内に入って見るだけでも興味深いですが、開館時間内であれば、絹織物の製作のようすも見学できます。

また、岡谷絹を実際に自分で織る、手織り体験も行っていて、コースターなどの小物を織ってもらいます。そのほか、草木染めも行っていますので、ぜひ、体験しにいらしてください。

本格的にやってみたい人は、年に一度、会員の募集をしていますので、お問い合わせください。現在、34名の会員が在籍していて、10年以上のキャリアを持つ人もいます。

岡谷絹の製作はすべて手仕事ですので、一足飛びではできない職人の世界です。おもしろいけれど、なかなか上達しないのが現実ですし、はじめから終わりまで、繊細で根気のいる作業が続きます。織物は10年やって、やっと入り口に立つ、といわれています。じっくりと技術を身につけ、岡谷絹の継承者となってもらえる人を募集しています。仲間になりませんか？わたしたちがサポートします。

岡谷絹工房 開館時間…午前9時～午後4時
（毎週火・土・日曜日）
問合せ●ブランド推進室 ☎23-3489

岡谷蚕糸博物館の3年間あれこれ

平成26年8月1日 リニューアルオープン

平成26年
8月1日～9月30日
企画展
「ユミカツラ
ブライダル シルク
ファッション展」

平成27年8月1日 開館1周年
姉妹都市の富岡市から、ぐんまちゃんとヘリテイジ仮面が駆けつけてくれました

(岡谷シルク×装苑×文化服装学院ファッション
テキスタイル科プロジェクト「キヌコレ」)

平成28年2月13日
「キヌコレ」
ファッションショー

平成28年10月5日
来館10万人達成！

平成29年8月6日
わくわくふれあいシルクサマーセミナー

岡谷蚕糸博物館
OKAYA SILK MUSEUM
シルクファクトおかや

【休館日】水曜日・祝日の翌日(11月4日は開館)
【開館時間】午前9時～午後5時(宮坂製糸所・まゆちゃん工房は午後4時まで)
【入館料】一般500円・中高生300円・小学生150円
【年間入館券】大人1,200円・高校生700円
諏訪郡内在住・在学の小・中学生、市内在住・在学の高校生は無料です

岡谷 OKAYA

〈企画展〉

「糸を組む ～あなたの知らない組紐(くみひも)の世界～」

会期…1月21日(日)まで

和服の帯締(おびじ)めなどに使われる組紐。伝統の技法で製作を続ける『有職組紐(ゆうそくくみひも) 道明(どうみょう)』の、現代の製品や古代の復元品などを展示し、奥深い組紐の世界をご紹介します。

【企画展関連イベント・ワークショップ】

※すべて10月26日(木)午前9時より電話にて受付。1名につき2名分まで申し込み可。

◆有職組紐 道明 道明三保子さん トークイベント
日時…11月11日(土) 午後1時30分～
講師…道明三保子さん(道明古式糸組法教処長・文化学園大学名誉教授)
定員…30名(要申込み) ※要入館料

◆本格派!『初めての組紐 -ストラップをつくる-』
丸台を使用して、本格的な組紐の製作を体験します。
日時…11月12日(日)①午前11時～午後1時・②午後2時～4時
講師…道明三保子さん、道明組紐教室講師
定員…各回15名(要申込み) **参加費**…2,000円

◆かんたん!くみひも体験
特別な道具を使わずに、手で絹糸を組む組紐体験です。
日時…①12月2日(土)・②1月7日(日) 午後1時～(両日)
定員…各日15名(要申込み) **参加費**…500円

【イベント・ワークショップ】

★講座「今月の染め」(11月4日(土)午前9時より電話にて受付)
第3回の染材は『もみじ』です。
日時…11月19日(日) 午後1時30分～3時
定員…10名(要申込み) **材料費**…500円

★館内ガイドツアー(申込み不要・要入館料)
日時…土・日・祝日の午前10時～・午後2時～(約1時間)

★フランス式繰糸機復元機の実演(申込み不要・要入館料)
館内ガイドツアーと併せて、実演を行います。
日時…11月11日(土) 午前10時30分～・午後2時30分～

岡谷蚕糸博物館
公式Twitter
アクセスはこちらから↓

申込み・問合せ●☎23-3489(サンシハク)